

[B] 平氏政権 (律令制に基づいた貴族的性格をもつ一方、西国武士の家人化や日宋貿易など武家的性格を合わせもつ過渡的政権)

平氏政権(六波羅政権)

1167年 **平清盛** (六波羅殿) が**太政大臣**に就任
 ★平氏一門で官職を独占 (→旧勢力からの反発を受ける)
 ex. 平時忠「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」 in『平家物語』

1177年 **鹿ヶ谷の陰謀** (後白河法皇らによる平氏打倒計画が漏洩)
 →**藤原成親**・**西光** (共に処刑)・**俊寛** (喜界島へ配流) を処罰

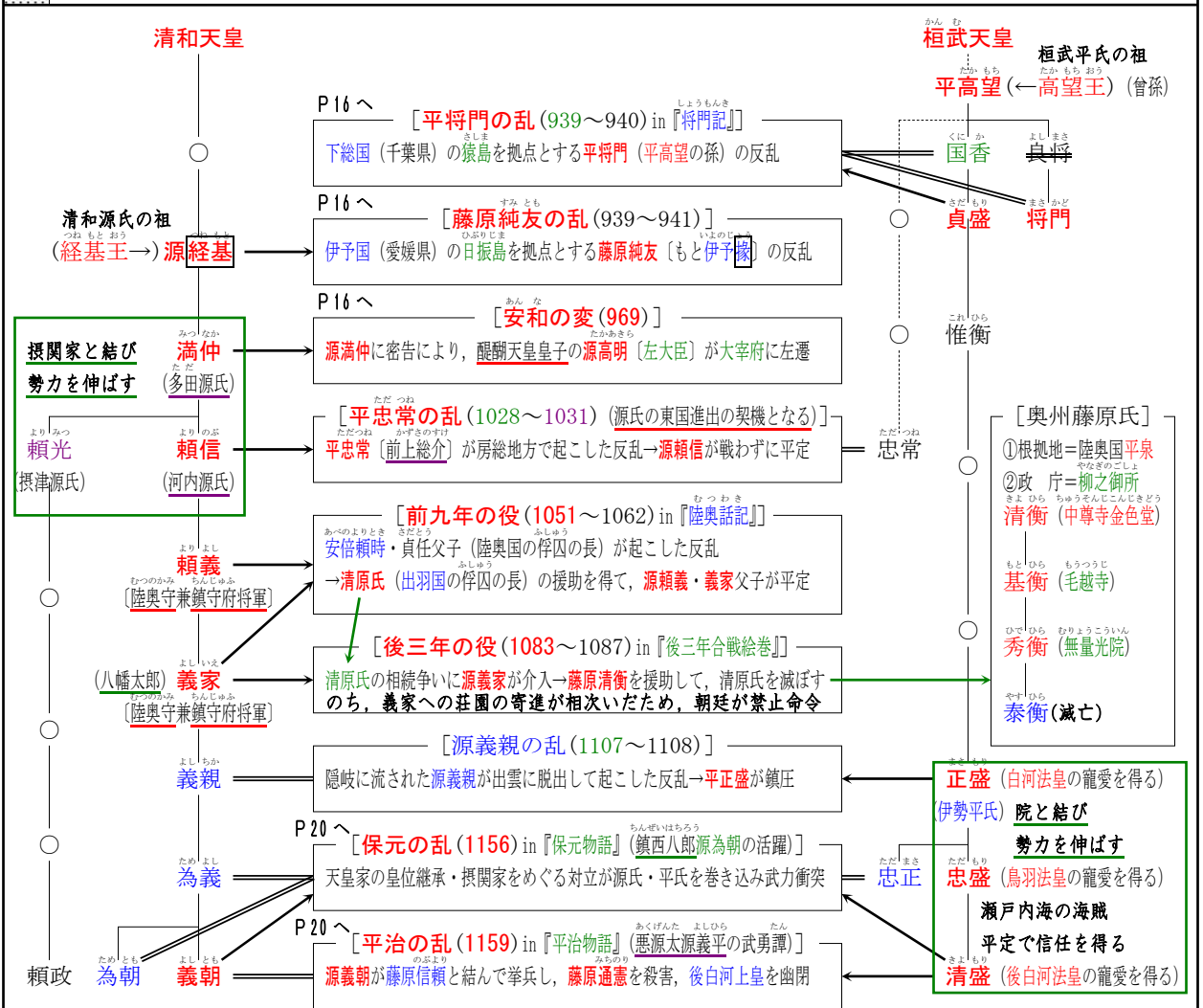
1179年 **後白河法皇**を**鳥羽殿**に幽閉 (→のち平清盛による専制政治へ)
 ★『**梁塵秘抄**』(後白河法皇が愛好した今様(流行歌謡)を集成(1180頃))

1180年 **高倉天皇**が譲位→**安徳天皇** (高倉天皇と**平徳子**の子) が即位

[経済基盤]

①**30カ国**の知行国・**500ヶ所**の荘園
 西国の武士と主従関係を結んで平氏の**家人化**し、**地頭**に任命

②**日宋貿易** (正式な国交はなく民間商船の往来による私貿易)
 輸出=砂金・硫黄・刀剣←輸入=宋銭・唐物 (陶磁器・書籍など)
 →**大輪田泊** (摂津国) 修築 (のち**兵庫津**と改称→現在の**神戸**)
 →**音戸瀬戸** (安芸国) 開削 (安芸国の**厳島神社**参詣のため)



図解NOTE [武士団の形成(10世紀・11世紀)]

- 10世紀

11世紀

- 律令体制の変質 (国司の権限強化→国司の課税率に不満をもつ有力農民が増加)
 ↓**地方政治の混乱** (収納をめぐる、**地方豪族**・**有力農民**と**国司**の対立が激化)
 - 各地で紛争が発生 (地方豪族・有力農民が勢力を維持・拡大するため武装化)
 ↓**地方豪族が「兵の家」(地方武士団=小武士団)を形成**
 - 紛争解決・鎮圧のため、**国司**は**地方豪族**を**国衙**に組織
 →**押領使**・**追捕使** (諸国の反乱鎮圧や盗賊などの逮捕にあたる国司支配下の武士)
 - 荘園・公領間の紛争が激化 (荘園の増加によって荘園領主・国司が対立)
 - 中央から**軍事貴族**を**追討使**として派遣 (紛争解決・沈静化のため)
 ↓**軍事貴族が土着** (地方武士団(小武士団)と主従関係を結んで**大武士団**を形成)
 - 武家の棟梁**となる ex. **桓武平氏**・**清和源氏**

